

緑化だより

No.21 平成19年10月号



コムラサキ

○きのこウォッチング

○さんぽ道

○研修会・イベント報告

8/26: ボタニカルアート教室

○研修会・イベント紹介

○花だより

○お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/ryokka-c>

E-mail ryokka-c@hiroshima-cdas.or.jp

きのこウォッチング

ムラサキアブラシメジモドキ…紫色で一見毒々しい感じがありますが食用です。つやがあるように見えるのは粘性があるため、傘も柄も粘性があるのが大きな特徴です。傘だけ粘性があると別の種類になります。



ムラサキアブラシメジモドキ

アカイボカサタケ…朱色の美しいきのこです。傘の頂端に鉛筆の芯のような突起があるためイボという和名が入っています。同様な形で他に黄色、白色、青色の色違いの種類(別種)があります。食毒不明。



アカイボカサタケ

ハチタケ…昆虫などの体から発生する冬虫夏草の一種です。ハチタケの菌はハチが活着している時に体内に侵入するようです。以後どのようにしてハチの体からキノコが発生するのか興味のあるところ。不食。

この他昆虫の種類によってキノコの種類も異なるので、冬虫夏草だけで1冊の図鑑ができるほどです。



ハチタケ

さんぽ道 『見本園の道』

(延長 1.3km 所要時間 60分)

レストハウスを出発し、センター池の横を通り、橋を渡ると右に下ります。左手に**ハクモクレン・コブシ**、右側に**ソメイヨシノ**と**ザンカ**があります花木園を過ぎ、紅黄葉樹見本園の標識を右折し、**ナンキンハゼ**を左手に、**ユキヤナギ・ドウダンツツジ**を右手に見ながら進み、**アキグミ・ナナカマド**の手前の階段を下り、左に行きます。

マテバシイやいつも葉が紅い**ベニスモモ**があり、突き当りを右折します。しばらく進むと針葉樹見本園があり、**ヒマラヤシーダー**、**ツガ**、**モミ**、**ドイツトウヒ**などが見られます。和風庭園の前には背の高い**センペルセコイヤ**があります。

左折して**ツバキ園**を右手に見ながら下ります。左側は**ヤマモモ・トチノキ・ケヤキ・タブノキ**などの広葉樹見本園があり、その奥には水生植物園が見えます。

道なりに進み、橋の手間を左に下ります。**イロハカエデ・カツラ**の下を歩き飛び石を渡ると大きな**カツラ・トチノキ**が見られます。ロマンス池を過ぎて旧アジサイロードを下ると、**バイカツツジ・ノリウツギ・キブシ・ウリカエデ・ケンポナシ**などがみえ舗装路に出ます。舗装路を右に上がると、出合いの広場にでて藤棚が見えます。大きな**ユリノキ**の横を通り緑の相談所の方に進みます。階段を上がって、右に進み多目的広場への階段を上がります。多目的広場・芝生広場には**テングシデ・チュウゴクボダイジュ・ヒツバタゴ・被爆桜・江波山桜・御衣黄**などが見られます。レストハウスは前方に見えます。



研修会・イベント報告

8月26日(日) 『ボタニカルアート教室』

今年から初めて行っている研修会が幾つかあるのですが、この『ボタニカルアート教室』もそのうちの一つです。

デジカメの普及で、花や風景の撮影を楽しんでいる方は多いですが、絵を描かれている方はたまにみかけるといふ状況で、どれぐらいの方が参加していただけるかなと不安はありましたが、10名の方が参加されました。

日頃、絵は描いていないという方が多くいらっしゃいましたが、黙々と2時間描いて、丁寧に描いていました。タカサゴユリ、ボタンヅル、ハウチワカエデなどの中から好きな植物を選んで描いてもらいました。

鉛筆でスケッチを行い、その後色鉛筆で色付けを行うという流れでした。細かいところまで描写するので、今まで気付かなかったことが発見できたという声もありました。上手に描くには時間がかかると思いますが、植物の特徴を掴むきっかけになるのだと感じました。皆さんも機会があればぜひ挑戦してみてください。



ボタニカルアート教室

研修会・イベント紹介

10月は、バラエティーに富んだ研修会・イベントがあります。月末から紅葉も見られ、秋本番です。

○10月24日(水) 『木の実ウォッチング』 10:00～12:00

管理事務所前集合 講師: 広島大学名誉教授 関 太郎 先生

『実りの秋』らしく、木の実を中心とした植物観察を行います。紅葉を見る前に様々な樹木の実について学習してみたいかでしょうか。自分たちの子孫を残そうと実(種子)には様々な特徴があります。

各方面で活躍されている関先生のお話も楽しみの一つです。

○10月27日(土) 『もみあげと庭木の手入れ』 10:00～12:00

学習室集合 講師: 日本造園組合連合会 新井 秀樹 先生

マツの手入れには欠かすことのできない『もみあげ』を中心に庭木の手入れについて学習する研修会です。庭木に関することや管理方法などで、日頃疑問に思っていること、聞いてみたかったことなどあれば、この機会に質問して下さい。

○10月28日(日) 『秋の山を歩こう』 10:00～14:00

管理事務所前集合 講師: 植物研究家 清藤 徹 先生 (弁当・飲物持参)

立石山を經由して長者山方面に進み、千畳岩(555m)まで登る予定です。千畳岩からは瀬野駅の上にある緑坂が一望できます。

花だより

アケボノソウ リンドウ科 センブリ属

今年の夏は暑い日が続き、残暑も厳しい日が続いています。マスコミでは異常気象などと報道もされていますが、ようやく朝晩は涼しさを感じるようになりました。この時期になると涼しさをいっそう感じさせる花が待ち遠しくなります。その花は、『アケボノソウ』です。緑化センターでは、9月15日に行われた「初秋の自然探勝」で今年初めてアケボノソウの開花に出会いました。



アケボノソウ

アケボノソウは谷など少々湿気の多い場所に生育する2年草です。1年目は全く異なる葉をしています。胃腸薬の薬草として有名な「センブリ」の仲間では花はよく似ています。ルーペを初めて使用して観察した花でもあります。



アケボノソウ1年目

ルーペは今まで見えなかった何かが見えるようになりますので、植物観察のときはぜひ利用してみてください。

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 10月21日(日)は第6回『山の日』県民の集い

県内6箇所では10月21日に開催されるイベントです。緑化センターでは、マツタケ林やさくらの森の整備・丸太切り体験・どんぐり教室など森や自然を育み、親しんでいただける催しを予定しています。マツタケ御飯の販売や餅まき、草花のプレゼントなども行う予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

◎ 臨時開園のお知らせ

11月は毎日開園します。ゆっくり紅葉をお楽しみ下さい。

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

○私の好きな自然の写真展 9月14日(金)～10月8日(月)迄

写真愛好家が撮影した様々な写真を展示

○きのこ写真展 10月11日(木)～10月29日(月)迄

様々なきのこの写真を展示します。生のきのこも定期的に入れ替えを行いながら常設展示しています。

○緑化センターの野鳥の巣展:9月5日(水)～10月25日(木)

センター内で子育てをした後の色々な野鳥の巣を展示

(レストハウスには様々な資料を置いていますのでご自由にお取り下さい)

◎ 研修会追加のお知らせ

11月14日(水) 13:00～15:00 『ツクバネ栽培』

種子が特徴的な『ツクバネ』の栽培について学習する研修会です。実際に播種作業を行う予定です。(参加を希望される方は当日の受付になります)